

# 紫友 SHIYU

同志社校友会 北海道支部機関誌 再刊第10号 (2021年6月)

学長・副学長より挨拶

同志社 北海道



ご挨拶

学長

植木 朝子

校友会北海道支部の皆様には

## 2021年度 年間活動予定&報告

1月	29日	新年会(新型コロナウイルス禍、中止)
2月	11日	スキー部練習会(新型コロナウイルス禍、中止)
3月	26日	山川理事就任祝&新年会&弥生例会(コロナ禍、宣言解除を受け 15名参加) 場所:プレミアムホテル-TSUBAKI-札幌『美麗華』 会費:5,000円
4月	29日	同志社フェア in 松本(新型コロナウイルス禍、中止)
5月	12日	皐月例会(新型コロナウイルス禍、中止)
6月	14日	渡航の地函館碑前祭(新型コロナウイルス禍、中止) 函館碑前、近隣ホテル昼食会
	26日	京都本部評議員会(書面決議) 場所:新島会館
7月	11日	第18回同立戦ゴルフコンペ 場所:札幌ベイ
	16日	文月例会 場所:札幌市内
	18~19日	“DOSHISHA Camp in Hokkaido 2021” 場所:羊蹄山山麓、話題のニセコ界限
8月	10日	第21回 関西六大学札幌OBゴルフ対抗戦 88会 場所:札幌ベイ
	21日	同志社フェア in 新潟
		樹徳会主催ビール会 他学部OB参加大歓迎 オホーツククラブ総会&懇親会 場所:クラブ総会、ラグビー部牛一頭贈呈…北見市モイワスポーツワールド
9月	17日	月見例会 場所:札幌市内
	25日	北海道地区クラブブロック会議 場所:プレミアムホテル-TSUBAKI-札幌
	25日	同志社懇親会&総会 場所:プレミアムホテル-TSUBAKI-札幌 会費:6,000円
10月	10日	三好杯争奪ゴルフコンペ
11月	11日	11会(関西六大学懇親交流会)
	14日	ホームカミングデー オンライン形式
	21日	十勝クラブ総会
		小樽クラブ総会&霜月例会 樹徳会北海道総会例会
12月	4日	同志社クリスマスパーティ 場所:プレミアムホテル-TSUBAKI-札幌 シャルミエール 会費:6,000円
都度		洛紫会(ゲリラ会)

<http://hokkaido.doshisha-alumni.org>

行事予定の詳細はホームページに最新情報を掲載しておりますので、ご確認をお願いします。



同志社大学 2025 ALL DOSHISHA 募金 ~創立150周年に向けて~ (順不同、敬称略)

株式会社 グリーンサプライ 代表取締役 星野 岳夫	鈴木修二税理士事務所 税理士 鈴木 修二	リプロデュース 株式会社 代表取締役 松本 聡
陶芸家 北川 智浩	株式会社 マネージメント総研 代表取締役・税理士 佐川 彰浩	税理法人 さっぽろ税務会計 代表社員 阿部 真澄
株式会社 ヴァンクール・マキ 会長 藤原 忠雄	株式会社 丸真真木呉服店 真陽商事 株式会社 代表取締役 真木 陽子	株式会社 トーコー 代表取締役社長 三好 美香
札幌協和法律事務所 弁護士 馬場 政道	株式会社 アールスタイル 代表取締役 平井 亮太	伊藤製缶工業 株式会社 代表取締役社長 宮澤 靖
株式会社 セリオむすめや 取締役会長 三澤 聖一	エフビットコミュニケーションズ 株式会社 札幌営業所長 石田 隼貴	すずらん法律事務所 司法書士 佐久間 武
橋本電気工事 株式会社 代表取締役社長 土岐田 昇 取締役会長 橋本 耕二	株式会社 エアー 代表取締役 石丸 康行	合同容器 株式会社 取締役会長 日野 隆 代表取締役社長 日野 威
株式会社 札幌ヤマグチ 代表取締役 山口 良美	札幌フロンティア法律事務所 弁護士 後藤 雄則	道路建設 株式会社 代表取締役社長 宮崎 健悟
中ノ目製菓 株式会社 代表取締役 中ノ目 孝道	中村和雄税理士事務所 副所長税理士 中村 友宣	丸惣こうぜき 株式会社 代表取締役 河関 憲明
株式会社 堀口組 札幌支店 専務執行役員 篠崎 信馬	第一ゴム 株式会社 代表取締役会長 浜村 光久	クチュール ガゼル 代表 早瀬 孝行
太陽石油 株式会社 代表取締役 草野 賀文	総合商研 株式会社 代表取締役社長 片岡 廣幸	株式会社 のっぽろ印刷 代表取締役 武田 泰一

ご協力を頂き大変有難うございました

寄付金を基に臨時の奨学金を創設。同志社校友会では大学の支援を得て、一人暮らしの学生の食をサポートする為「クーポン」を発行して「ランチ・プロジェクト」を展開。又大阪の理事で「Facebook」同志社今出川会を管理する早瀬孝行さんの呼びかけで、「同志社エール飯」でも同様に食を応援しました。同じ括りの中の村意識と言ってしまうては忍びない。我々に出来る手段で、手を差し伸べなければならぬ先に、的確に対応したのではないかと思っています。全国の大学に先駆けて出来たその支援は新島精神から発露し、我ら卒業生の気概を十分發揮できたのではないかと思えます。実施に労を取られた方々に心から敬意を表します。



**理事・副会長 就任譚**  
学校法人同志社理事  
同志社校友会副会長 山川 寛之

今年の6月9日の誕生日で私は75歳、とうとう後期高齢者の仲間入りです。人生の終活期にこの様なことになるのは予想もしていなかったのですが、昨年8月学校法人同志社の理事を拝命したのに続き今年4月には同志社校友会副会長の重責を担うことになりました。

地方弱小支部所属の会員がこの様な名譽に浴することは前代未聞の珍事なものです。

昭和40年決して第一志望ではなかったものの、浪人してまで国立大学への拘わりも無く、すんなり唯一合格していた憧れの地京都にある同志社大学経済学部に入學いたしました。

話は変わりますが、当支部前支部長の山川寛之さんが、去年学校法人同志社の理事に就任され、今年から校友会の副会長の責も担うことになりました。ホームカミングデーや大懇親会でも全くの裏方として、人の見えていない所での活動が評価されたのだと思っております。去年山川さんの仕事を少しばかり手伝いました。山川さんは「こんなに一所懸命他人の世話をする人はいない、本当にありがたい」と随分なお礼を言われました。私は心の中で「あなたが今までしてきたことと同じことをしているだけでですよ」と暗誦しておりました。東京エレクトロン元社長・東哲郎さんは私の履歴書の中で「人間は他者との結びつきに学び、鍛えられ、成長する」と書いておられます。校友会はかくあるべきと思っております。

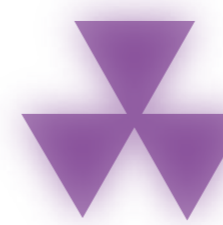
今考えてみますと世間知らず、田舎育ちの道産子が、旧都京都で九州や四国といった広く全国各地に友人・知己を得ることが出来たのは私の人生最大にして最強の財産となっております。また、彼の地京都で人生の師と仰ぐ西郷隆盛との邂逅もこの時なのです。就職は地元札幌の北海道銀行でしたから再び地方へと逆戻りでした。第一次オイルショック直後、昭和50年代、高度成長期の真只中の同志社校友会北海道支部総会は松山総長をお迎えして盛大に実施した積りでも参加者50名前後の規模でした。それが実に寂しく、もっと盛況にしたいとの思いが校

友会活動参画へのきつかけだったのです。その後は若手の仲間を募り、名簿を充実し、基金を創り年費を負担させない全国でも珍しい形・存在の北海道支部となりましたのは誇らしいことです。

「商売人は人脈が総て、最大の財産武器である」これは私の持論ですが、校友会活動は正に各界第一線で活躍している同志社人との異業種交流の場であろう人脈の豊庫なのです。これまで私ほど同志社の先輩や後輩に公私に亘り助けられた人は居ないでしょう。現在も元気に活躍させて頂いてますのも、これ等貴重なご縁の賜なのです。私の人生は同志社に始まり同志社に終る、同志社様々、お陰様の世界なのです。実は、学校法人同志社理事就任についても秘話があります。それは校祖新島裏に導かれたご縁の道程でした。一昨年の初秋、同志社校友会北海道支部の月例会で学生時代、ロクに学ばなかったキリスト教のお話をT先輩から伺う機会を得ました。このご縁に端を発し、私は大学在学中に生涯尊敬して止まない師、西郷隆盛とキリスト教の關係についてお話をするチャンス、次回月例会の講師のご縁を得ました。この二つのご縁が繋がって自らがクリスマスチャレンという運命に出会うのです。73歳の身にとって新約・旧約合計1500ペー

ジの聖書を読破することは少々キツイことではありましたが、受洗2日前に完読、無事洗礼を受け信仰生活に入ることが出来ました。(受洗牧師も同志社大学の後輩でしたから驚きです)あれもこれも同志社のご縁、校祖新島裏に関わるご縁なのです。正に私の人生は、「同志社一色に染る、誇らしくもあり、また楽しくもある」の心境です。

結びになりますが、同志社校友会は今、井上会長から松岡新会長へバトンタッチがされ新時代に入りました。引き続き活性化する、元気で明るく楽しい同志社校友会を目指して「同志社」を心から純真に応援する集団とする様相進したいと考えています。就中、大学設立150周年へ向けて最大限の努力を傾けて行く積りです。理想の大学同志社はその後50年の200周年に完成する訳ですが、自分が生きて関与できる150周年を最後のチャンスと捉え頑張ります。残された人生の大半を同志社の為尽くしたいと正直思っています。引き続き校友皆様のご支援ご協力をお願いして筆を置きます。拙文にお付き合い頂き誠に有難うございました。



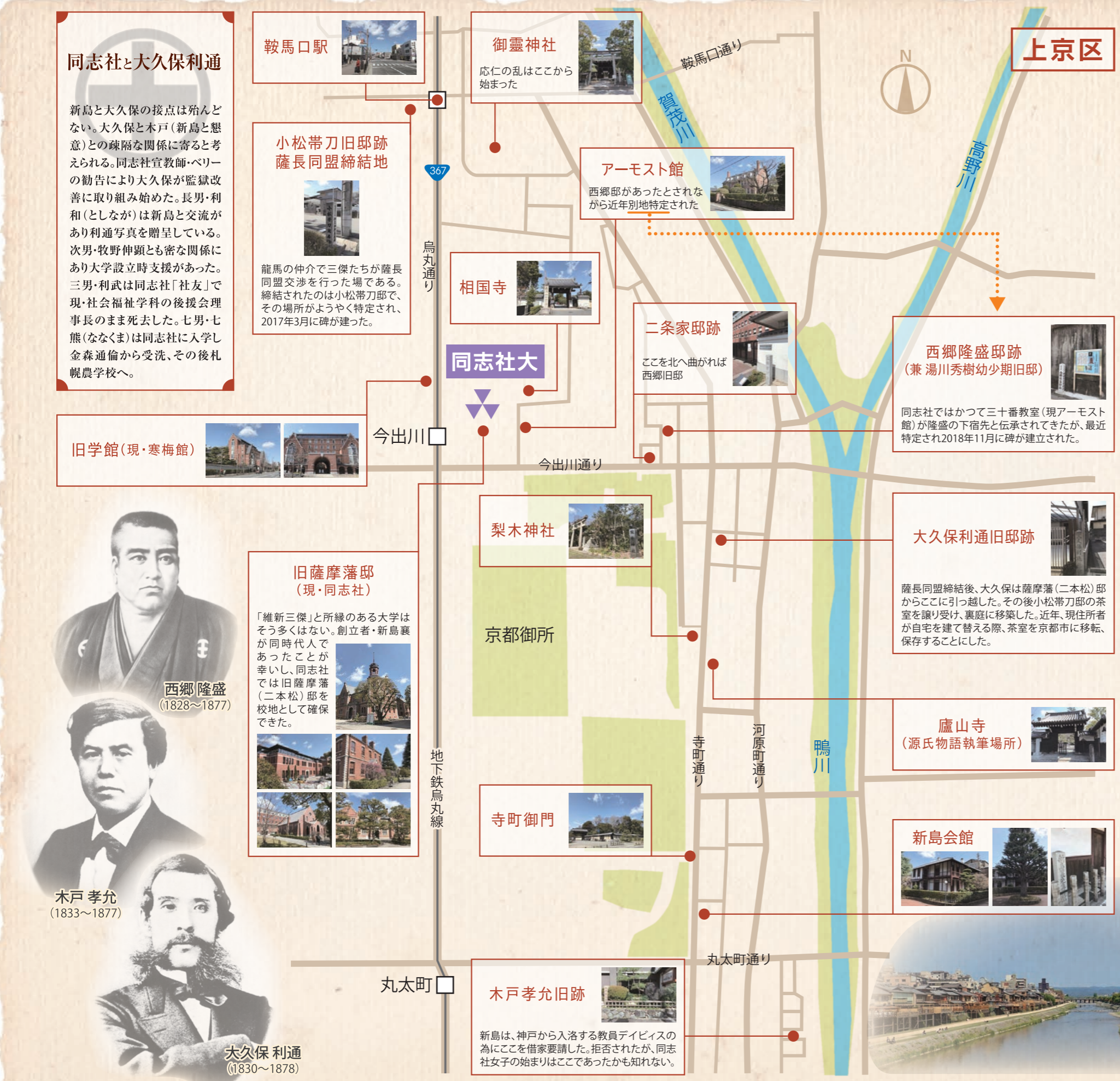
# 北海道新島研究会

『同志社を掘る』創立百五十年に向けて』  
本井康博 著 (株)蒼究社より参照

## 「同志社と維新三傑」を歩く

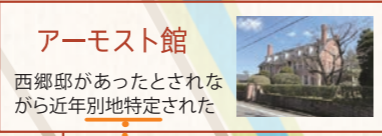
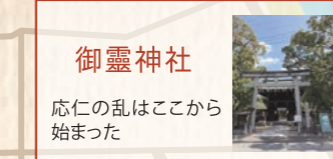
皆様コロナ禍「京都へ行きたい症候群」ではないでしょうか？  
少しでもその気分を回復していただこうと北海道支部アンバサダー  
早瀬孝行さんにお願ひし、同志社界隈の今を撮ってきて頂きました。  
維新三傑旧邸・薩長同盟締結場所がここ3、4年で特定されました。  
同志社からも新島邸からも徒歩圏内。  
改めて歴史の舞台・京都の凄みを感じます。

(文責・事務局 武田泰二)

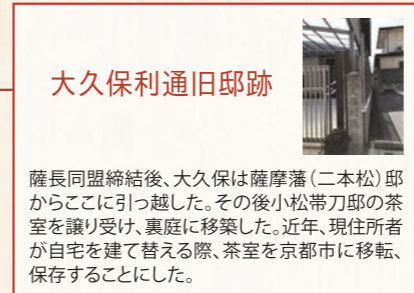
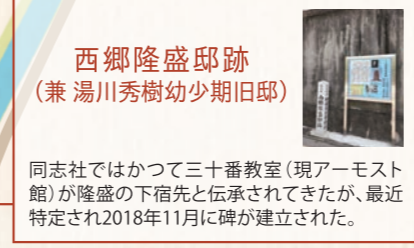


### 同志社と大久保利通

新島と大久保の接点は殆んどない。大久保と木戸(新島と懇意)との疎隔な関係に寄ると考えられる。同志社宣教師・ペリーの勧告により大久保が監獄改善に取り組み始めた。長男・利和(としなが)は新島と交流があり利通写真を贈呈している。次男・牧野伸顕とも密な関係にあり大学設立時支援があった。三男・利武は同志社「社友」で現・社会福祉学科の後援会理事長のまま死去した。七男・七熊(ななくま)は同志社に入学し金森通倫から受洗、その後札幌農学校へ。



同志社大

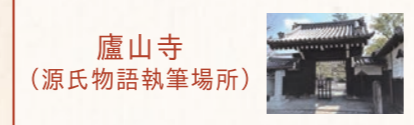


「維新三傑」と所縁のある大学はそう多くはない。創立者・新島襄が同時代人であったことが幸いし、同志社では旧薩摩藩(二本松)邸を校地として確保できた。

西郷隆盛 (1828~1877)

木戸孝允 (1833~1877)

大久保利通 (1830~1878)



新島は、神戸から入浴する教員デイビスの為にここを借家要請した。拒否されたが、同志社女子の始まりはここであったかも知れない。

### 同志社と木戸孝允

新島と木戸との相思相愛ぶりは周知である。アメリカ滞在中、木戸は文明開化かぶれもアメリカかぶれもない新島に驚き「滞在中の日記に、対面の印象として『頼むべき一友なり』と書き、後日の日記にも『彼の厚志・篤実・当時軽薄・浅学之徒、みだりに開花を唱ふるものとは大に異なり、余徒と交わり、自ら旧知の如く、その益を得ることすくなからず。後来、頼むべきの人物なり』(司馬遼太郎著「明治という国家」)「木戸の洋行中には、新島は実に木戸の意中の人であったことは、明白である」(徳富蘇峰著「三代人物史」)

### 同志社と西郷隆盛

新島と西郷の直接的交渉はないが、西南戦争の2年後に城山を訪ねている。長男・菊次郎は第2代京都市長として同志社幹部と交流があった、孫・隆吉は同志社人。維新前塔之段町に居住していた実弟・従道(新島と同年齢)は、その後私学無視の徴兵令改正への陳情に労を要してくれた。従道長男・従理は10歳で亡くなりニコライ聖堂で葬儀を上げた、その後ニコライ(函館時代の新島大恩人)と母親(清子)の交流が従道邸で行われた。長じて従道長女・桜子はプロテスタント教徒となった。